

指定障害者支援施設

さやま園  だより

GOOD DAY SUNSHINE PROJECT!

かみりあ



No.214

2021.JUL.



園長 NOTE

荒井園長 編

東京 2020 オリンピック・パラリンピック

このコロナ禍においての開催の是非が問われながらの開催となりましたが、一番複雑な思いでいるのは、このような大きな大会でのメダル獲得のために努力してきたアスリートの皆さんではないでしょうか。また、昨年の開催であれば参加できた選手や今年だから参加できた選手など、^{ほんろう}翻弄された1年でもあったと思います。

しかし、開催は決まりました。4年に一度の大舞台でのアスリートの皆さんのパフォーマンスは、誰をも魅了し感動と力を与えてくれます。自分の成すべきことを精一杯出し切ってもらいたいと心から願います。

私たちは、この大会がコロナウイルスの更なる感染拡大(第5波)へと繋^{つな}がれてしまうのではないかとどうしても結びつけてしまいます。現実否定はできないでしょう。しかし、コロナウイルス株の次から次へとの変異、緊急事態宣言下でも人流を止めることが出

来なかったことなどを考えると、長期にわたる自粛生活の疲れ、危機意識の低下などを鑑^{かんが}みると、オリンピック・パラリンピックがあろうがなかろうが、感染拡大を止めることはできなかったのではないかも思ってしまう。

本来なら自国の国旗を顔にペインティングした人達が街を練り歩き、大会の興奮をそのままおいしい一杯と変え、スポーツカフェやスポーツバーでは、モニターにきぎ付けになりながら国籍を超えてお客同士が肩を組み一喜一憂^{いっきいちゆう}するところでしょう。

しかし、今年は違います。それでもアスリートの皆さんには、これまでの努力が実を結び満足の得る結果となること願いたいですし、スポーツの感動・わくわく・ドキドキ感に興奮したいと思います。

ワクチン接種も加速しています。副反応も心配されるところではありますが、一日でも早い日常を迎えるためにみんなで頑張っていきましょう。



『打倒！コロナ！運動会』

例年であれば春の終わりに澄んだ青空と太陽の下、全員が園庭に集合し行われた運動会。年度初めの盛り上がりを見せる行事ですが、去年は中止、今年はコロナ禍での規模を縮小して開催しました。

何と言っても職員たちの力量が試されます、装飾に、競技に、声援に、面白さ楽しさに！

あおぞらグループ(日中活動のリハビリチーム)は、普段からリハビリに力を入れているのでボールも走りも得意です、負けん気がつよいので表情からもその必死さが伝わります。くれあグループ(日中活動は創作メイン)も棒を使った競技は「任せて!」と言わんばかり。毎日、手作業ですので器用な方たちばかりです。とくに白熱するのは職員の二人三脚・障害物競争!マスク着用なので表情さえ分かりにくいですが、パフォーマンスが光ります。利用者さんより顔必死ですよ(笑)。

終わったあとの昼食のおにぎり!これまた絶品で利用者さんも大満足でした。午後は昼寝ですよね・・当たり前です。来年も絶対またやりましょーね!って声がたくさん聞けて良かった、良かった。



真剣な表情でボールを運ぶ松田論理さん



職員による障害物リレー



鬼たたき競争



玉入れてダンクを決める小淵さん

さやま園 新支援職員のご紹介

今年度も新たな職員がさやま園に入職しました!!

今回は新たに入職された相談支援専門員と各グループに配属された新入職員・異動職員の皆さんに、仕事で頑張りたいことからプライベートまで掘り下げる質問にいくつか答えていただきました。



きたの いずみ
北野 泉実さん 生活支援員・所属：つくし

1. 利用者も職員も人数が多く、活気がある所だと思います。また様々なイベントがあり利用者が楽しめる場面が多いと感じました。
2. 何らかの支援が必要な人の手助けをすることに興味をもち、この仕事を選びました。
3. ライブに行くこと。好きなアーティストの曲を聴くこと、動画を見ること等です。
4. 空いた時間で社会人としてのスキルを身につけるための勉強をしてみたいと思います。
5. つくしグループの北野泉実です。

入職してから2カ月と少し経ち、ほんの少しだけ「自分にできる」と思えることができてきました。とはいえまだまだなところも多く、迷惑をかけてしまう場面もあると思いますが、自分なりに頑張っていきます。よろしくお願ひいたします。



おじま あや
小島 英さん 生活支援員・所属：あんず

1. 1日の中で多くの人と関わるので、最初の一か月は一日があっという間でした。利用者の方も職員の方も優しい人が多く、見習うことばかりです。
2. 学生時代のアルバイトで人と関わる事が多く、人と関わって行ける仕事をしたいと思いました。また大学では心理学を専攻していたため、人に関わる仕事の中で障がい者福祉に興味を持ちました。
3. 読書が好きです。コロナになってからは自粛していますが、国内旅行（特に京都に行くこと）が好きで年に何回か行っていました。
4. 運動する機会を増やしたいです!
5. まだ知らないこともあり迷惑をかけてしまうこともあるかと思いますが、人として・支援する職員として成長していけるよう努めてまいります。よろしくお願ひします。



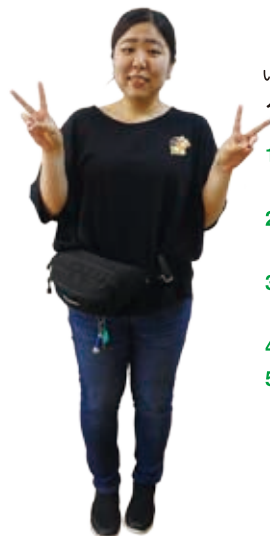
やまだ じゅんこ
山田 純子さん 相談支援専門員・所属：相談支援

1. 利用者・職員の皆さまも、雰囲気がとても明るくてほっこりしました。
2. 相談支援とは、福祉サービスを利用する方の夢や希望をかなえるお手伝いです。ほんの少しでも皆さまの夢をかなえるお手伝いをさせて頂きたいと思いました。
3. 沖縄三線を弾きます。
4. いろんな意味で「ちょうどよい」を目指したいです。
5. 山田純子と申します。まだまだご迷惑ばかりおかけしておりますが、皆さまとたくさんお話をしたいと思っていますので、どんどん話しかけてくれるとうれしいです。



いりぐち あけみ
入口 明美さん 生活支援員・所属：つくし

1. 沢山の利用者さんがいらっしゃいますが、お一人お一人の人生に深く、濃く関わることができる場所だと感じています。
2. 大学時代の実習で、障がいをもつ方々についてもっと知りたい、学びたいと思ったことがきっかけです。
3. 歌うことが大好きです。コロナ禍のおうち時間で1年ほど前からウクレレを始めたので、弾き語りをよくしています。
4. 読書と何か親孝行したいです。
5. 改めましてつくし職員の入口明美です。まだまだ未熟者ですが、利用者さんや職員の皆さんに沢山支えられながら日々学ばせて頂いています。いつも本当にありがとうございます。今後とも奮闘してまいります。



? 質問 Questions

1. さやま園、どのような所？ 入職して数ヶ月振り返ってみて、どうでしたか？
2. どうしてこの仕事を選びましたか？
3. 趣味は何ですか？
4. 今年度チャレンジしたいことはありますか？（仕事でもプライベートでもOK）
5. さやま園の皆さんに一言挨拶を（自己紹介とか抱負など）



やすがひらまゆ
安ヶ平麻佑さん 生活支援員・所属：すみれ

1. 毎日、利用者さんの新しい側面を知る事が出来る刺激のあるところ。
2. 小学校の時から障がいを持つ子と関わる事があったから。
3. 映画・アニメ鑑賞・バッティングセンター
4. お金を貯めて一人暮らしをしたい。
5. 入職して2ヵ月、まだまだ分からない事だらけで、戸惑う日々ですが、1日でも早く慣れて戦力となれるように様、一生懸命頑張ります。よろしくお願ひ致します。



つだ まゆこ
津田茉友子さん 生活支援員・所属：かえで

1. 笑顔あふれ優しい方が多い居心地の良い場所だと思いました。不安の大きかった4月に利用者の方々や職員の方々が笑顔で接してくださったので安心できました。
2. 福祉の学科でボランティアやバイト、実習で障がいを持った方々と接することが多く、そこで得たことを仕事に活かしていきたいと思いこの仕事を選びました。
3. 漫画を読んで集めたり、休日に作ってみたい料理にチャレンジするのが最近の趣味です。
4. 仕事では様々なことに取り組みチャレンジして行きたいです。プライベートでは車の免許取得にチャレンジします。
5. さやま園の一員として、よりよい支援ができる職員になれるようチャレンジ続けていきます。どうぞよろしくお願ひいたします。



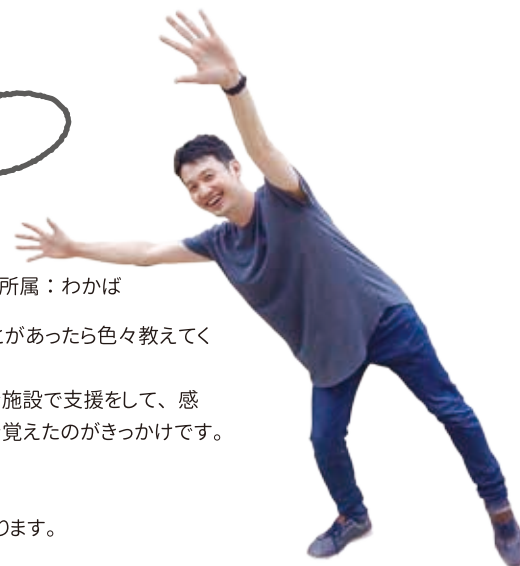
いしばしたつひこ (さくらんぼより異動)
石橋辰彦さん 生活支援員・所属：わかば

1. 利用者・職員共に笑いが多く、アットホームな場所。
2. 家族全員が福祉関係の仕事をしている事と、兄が障がいを持っている事もありました。その為に障がいを持った方々と接する機会が多かったからです。
3. スポーツ観戦（Jリーグ・海外サッカー）・アニメを見る事
4. インドアからアウトドアへ（コロナ禍で出来る程度に）
5. マイペースな性格なのでお願ひしまへす。



たなか じゅんいち
田中純一さん 生活支援員・所属：わかば

1. 職員同士で仲が良く、困ったことがあったら色々教えてくれる環境。
2. ボランティアとして知的障がい者施設で支援をして、感謝される喜びや支援する楽しさを覚えたのがきっかけです。
3. サッカー・野球
4. 20キロマラソンに挑戦したい。
5. 色々、ご迷惑をかけますが頑張ります。



ただ やすとし (昭島荘より異動)
武田康利さん 生活支援員・所属：すみれ

1. とても印象に残ったのは入所者が男女問わずとも活発で笑顔で生活している。バイタリティーあふれている感じ。諸先輩方はとても親しく丁寧に仕事を教えてくれています。
2. 幼少期からおばあさん子で育ちました。中学生の頃クラスの中に障がいを持った子がいてその子をみんなで支えた体験をもっています。心理・スピリチュアル人間観察など関心があり洞察力があると友人から言われてきました。福祉=社会的使命を達成する目的・非営利組織・奉仕の精神が自分にはぴったりとききました。
3. カラオケ・占い・絵を描く（水墨画）画号優河【東京都立美術館出展経験 日中展】
4. 利用者の作品制作・自己実現の喜びを共感し少しでも手助けになるよう支援していきたいです。自分の作品を美術展に出展したいです。資格を取りたいです。
5. こんな私ですが今後ともご指導ご鞭撻を宜しくお願ひ致します。



がこうゆうが

さやま園の食事・おやつ

今年は暑くなるのが早く感じられた方が多かったのではないのでしょうか。夏バテで食事が減る人やコロナ禍の中、外食に行く事が難しく食べたいものが中々食べられないと感じる人もいたかもしれません。

さやま園でも、外食をする事ができず、デリバリーで利用者の食べたい物を食べられるようにするなど工夫をしてきました。(カルミア 213号でご紹介しています)

また、さやま園の給食は栄養士さんや調理士さんが考えてメニューを作るのですが、食を楽しむ細やかな工夫が凝らされています。今回はその一端をご紹介します。

1 調理師による手作りおやつ!!

調理師さんが自分で考えたおやつを利用者に提供するというものです。

流石の調理師さんも凝りすぎて利用者だけでなく職員も驚きの仕上がります。



チョコレートで王冠のトッピングも手作りする凝りようです



その王冠をあしらったオヤツがこちら！
食べるのが少しもったいない可愛いプリン^{の完成です}



かき氷に好みのシロップをかけます



見た目も爽やかな
クリームソーダのようなゼリー

2 季節のおやつ!!

普段とは趣向を変えたおやつ^{の提供もあります}。

夏と言えば!かき氷!!

暑い季節には冷たい物を食べたくなりますよね。

何種類かのシロップを準備して自分の好きな味で食

べて貰えるように職員と一緒にシロップを選びます。

もちろん、利用者さんの目の前でかき氷を作ります。

3 ご当地グルメ

この写真は石川県にあるご当地グルメで*ハントンライスと言います。

コロナ禍で旅行に行けない利用者にも他県の味を味わって貰おうと栄養士さんが考え利用者におおばんまに大盤振る舞いしました。

*ハントンライスとは?

ケチャップライスの上に、半熟の薄焼き卵と白身魚のフライを乗せ、ケチャップとタルタルソースをかけた料理。



栄養士さんのマイブームです!

今年度は日中活動の連載^{れんさい}をしていこうと思います。
『わたしたちの活動』と題し、2021年初回は『くれあ』をお届けします。

「くれあの素敵な仲間たち」

くれあ【Create= 創り出す】
～斬新なアイデアからモノづくりへ～

彼女・彼らから生み出されるデザインや作品はいつも面白くインパクトがあるものばかりです。
「自分たちの好きな作品をつくろう」そして「いろんな人たちに見て欲しい」そんな願いで活動しています。



朝、くれあ（手芸・造形活動）のドアが開くのを、今か今かと待っている方々がいます。
「おはよう!」と、早く活動したい利用者さんたちです。
時間差で次々に仲間たちが揃ってきます。総勢 33 名の活動です。

自分の好きな作品をつくります。ときには何度も何度も練習してから、新しい作品に取り組む方もいます。集中力がすごい方、自分のペースで作る方、棒体操（最後におこなうリハビリ）の準備をしてくれる方、掃除が得意な方、いつも賑やかな声が聞こえてきます。
職員もいっしょに楽しみながら過ごしています。

作品のカタチや出来栄だけでなく、そのひとつひとつに個性があり驚かされます。
完成したのちに笑顔を見ると自分のことのように嬉しくなります。
まだ、コロナ禍で見ていただく機会がなく残念ですが、いつかその個性豊かな作品をぜひ見にいらして下さい。

こんにちは、広報委員会のナギカワ（以下 ナギ）です。だんだん暑い季節となってきましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？

さて、今回はさやま園で働く職員の人柄・個性などを知っていただくのも良いかなと、職員インタビュー企画を思いつきました。栄えある第一回のゲストは…

日中活動に所属の上田さんです。では早速、お話を聞いていきましょう。



今回のメニューはスープ

「みそ汁や」とは？

ナギ：記念すべき職員インタビューの第一号なのですが、感想をお願いします。

上田：どうして私なんですか？

ナギ：いやいや経験も長く、日中活動を舞台にいつも走り回っているの、ふさわしいと思ったんですよ。

上田：はあ、それなら良いのですが…

ナギ：今回、職員待望の「みそ汁や」が再開されましたが、簡単に説明をお願いします。

上田：「みそ汁や」は利用者が職員と協力して昼食を作り、希望する職員に適正価格で提供し、美味しそうに食べる職員を見て、やりがいや喜びを感じていくという活動です。今回はコロナ禍でデリバリー形式（主にスープ）での再開です。



利用者と仲良く作業する上田さん

メニューについて

ナギ：自分としても社食のような位置付けで、とても助かっているのですがメニューはどのように考えてるんですか？

上田：日中活動の職員と話し合いながら季節に合ったもの、ご当地グルメ系のスープなどを参考にしながら考えています。月2回なので1回目はこってり2回目はあっさり等、バランスも考えて組み立てています。

ナギ：「みそ汁や」を再開してから、職員からの反響はどうですか？

上田：今回のメニューを早速ご自宅で再現した職員も多く、さらにアレンジした職員もいました！

ナギ：確かにとても美味しかったですからね！では「みそ汁や」でこれまでに何かトラブルってありました？

上田：そうですね、う〜ん…、あ、「ご飯が炊けてない！忘れてた〜」ってことがありました。

ナギ：ええっ！そ、それは…!？

☞続きは、さやま園 WEB サイト「<https://sayamaen.com>」にて掲載中です。

または PC カスマホから「さやま園」で検索してみてください。



デリバリー用に作ったスープ

編集後記

入職して早3カ月。この誌を手にとってくださったまだお会いしたことのない皆さまへ、ご挨拶のお手紙を書くような気持ちで携わらせていただきました。直接お会いできる日を楽しみにしながら、1日1日を自分の成長の因として積み上げていきます。

広報委員 入口

